

2021年4月29日

進行性脊髄軟化症についてのアンケート

オーナー様・動物さんについて	
氏名	
動物さんお名前	あずき
犬種	ミニチュアダックスフント
性別	<input type="checkbox"/> ♂(去勢: 有・無) <input checked="" type="checkbox"/> ♀(避妊: <u>有</u> ・無)
生年月日	(2015)年(4)月(17)日

進行性脊髄軟化症と言う病気について罹患前にはご存知でしたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 知っていた <input type="checkbox"/> 知らなかった	
麻痺の発症日はいつでしたか？覚えておられましたらお答えください。また手術をいつ受けられましたか？	
麻痺の発症日 (2020)年(/)月(/)日	
手術日 (2020)年(/)月(6)日	
当院の治療をどのようにして知りましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ(ブログ含む) <input type="checkbox"/> SNS (Instagram, YouTube 等)	
<input type="checkbox"/> 他院のご紹介 <input type="checkbox"/> お知り合いのご紹介(お名前:)	
<input type="checkbox"/> その他()	
進行性脊髄軟化症と診断され、当院に来院される前のお気持ちはどのようなものでしたか？	
進行性脊髄軟化症は恐ろしい病気です。このまま放置すれば5日間で死に至る可能性が高いとの診断。命の危機が切迫しており、愛犬の命を救う為にしてあげられることは全部してあげたい一心でした。	
当院での治療を決心され来院する決め手となったものは何でしょうか？	
2020年元旦にヘルニアを発症し、動物病院京都で診断手術を受けました。しかし、お正月期間中であり余計にかもかもしれませんが、対応の悪さと遅さ、そして何よりも看護状態の悪さに不信感を持っていました。元旦から右京動物病院を紹介して欲しいと訴えていたのですが。。1月3日にヘルニアの手術を動物病院京都ですてもらいましたが、5日に面会に行くととても具合が悪そうでした。6日の朝に面会に行った時、しばらくしてから脊髄軟化症を発症している可能性があると言われて、MRIを撮りに行って下さいと始めに案内されたが、やはり命の危機が迫っているとの事で、右京動物病院に連絡を入れていただきました。	
担当獣医師の説明や対応はいかがでしたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> とても良かった <input type="checkbox"/> 良かった <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 悪かった <input type="checkbox"/> とても悪かった	
理由	右京動物病院に到着すると、すぐに診察をしてくださり軟化症手術の内容や手術後の入院治療について詳しい説明がありました。そして、その日の夜に緊急手術をしていただきました。

担当看護師の説明や対応はいかがでしたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> とても良かった <input type="checkbox"/> 良かった <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 悪かった <input type="checkbox"/> とても悪かった	
理由	手術後に面会に行った時、看護師さんから毎日の状態や日常の様子などをお話しいただき、前の病院とは全く違う温かさを感じて涙が出てきました。日々手厚く看護をしてもらい、お忙しい中面会に行っても、いつも温かく迎えて下さいました。退院後の不安について聞いてもらったり、圧迫排尿のやり方を何度も親切に教えて下さり、感謝の気持ちでいっぱいでした。
手術前の不安な点は何でしたか？	
1月3日に動物病院京都でヘルニア除去の手術を受けて、その3日後にまた手術をすることになり軟化症の手術に耐えられるのか、一番の心配でした。	
手術後に上記の不安は払拭されましたか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	
理由	手術は無事に成功し、麻酔からも醒めたとの連絡をいただきましたが、数日間は無断を許さぬ状況にあり、その時期を乗り越えれば安心して暮らせるかとの医師からの説明を受け、ずっと不安な気持ちは消えませんでした。
入院生活中はどのようなお気持ちでお過ごしになりましたか？	
京都市内に在住しておりますので、毎日、面会に行く事ができました。手術は無事に終了したとはいえ、他に入院している同じ病気の子に比べ、体はやせ細り弱々しく感じられ、毎日が不安でいっぱいでした。ご飯の食べた量や日々の様子を看護師さんからお伺いし、一喜一憂してました。また、退院してからの介護の事を考えると、仕事をしながらではしんどいなと思い、職場を退職しました。	
遠方の方で面会できなかった方はどのように過ごされましたか？	
退院後の生活のためにどのような準備をされましたか？	
<ul style="list-style-type: none"> ・ もう一頭ダックスフントがいますので、以前に使っていたペットサークルを再活用し、分けさせていただきました。 ・ リハビリ、介護に使用できるかと思い、ヨガマットを購入しました。 ・ 老犬を介護している方のブログなどを読み、情報収集をしました。 	
退院後の生活で困っていることや工夫はありますか？	
お困りのこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圧迫排尿が必要なので長時間の外出が難しいこと。 ・ 病気になってから食が細く、なかなか食べてくれない時間がかかるとなりました。
工夫されたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夫婦2人共に、圧迫排尿を練習してきている様になったので、介護の負担を分け合える様になっています。 ・ 毎月三浦先生の鍼灸治療を受けており、同時に尿検査を必ず受けています。 ・ サポーターの装着を日中はほぼ欠かさないように行っています。 ・ あずき(愛犬)が自分で動ける範囲に限られる為、今後以上にその気持ちを考えてあげよう様になりました。

当院での治療を受けられたことを最終的にどのように感じておられますか？

とても満足 満足 普通 不満 とても不満

理由

介護は大変な事がありますが、可愛い愛犬と日々過ごせることに幸せを感じています。
以前の様に自分の足で歩くことはできませんが、車いすで歩いたり、走りかへ出来て、だんだんと逞しくなってくる前足を見ていると、やはり手術をして命を助けてもらえてよかったですと思っています。

今後同じ治療を受けられる方にお伝えしたいことはありますか？

この病気になってからじっくりと考える時間はありませんでした。
その中で判断をすることはとても難しいかと思っています。

このアンケート内容を匿名で公表させていただいても宜しいでしょうか？

可 不可

最後に何かお伝えしたいことがありましたらご自由にお書きください。

家族の一員である愛犬。なぜうちの子がこの病気になってしまったの？
不自由な体でも愛犬は幸せなの？と泣いて悩んだ日々がありました。
今では介護の必要な体でも毎日かわいく元気に過ごしています。
この子の命を救ってくださいました平野先生をはじめ若菜動物病院のスタッフ
の方々皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。
本当にありがとうございました。そしてこれからもどうぞ宜しくお願いします。

ご協力ありがとうございました。